

**墨田区 令和5年度区のイメージに関する
アンケート調査分析
(区報・ウェブサイト等での周知による調査)
報告書**

墨 田 区

目次

第1章 はじめに	1
1. 調査実施概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の実施方法	1
(3) 調査項目	1
(4) 回収状況	1
(5) 調査結果の集計と分析について	1
(6) 分析の視点	2
第2章 調査の結果	3
1. 回答者の基本属性	3
(1) 調査結果	3
2. 現在の区のイメージと今後の区に期待するイメージについて	4
(1) 調査結果概要	4
(2) 調査結果	4
3. 区への満足点、不満点等について	8
(1) 結果まとめ	8
(2) 調査結果	9
4. 地域課題の解決やまちづくりへの区民参加について	15
(1) 結果まとめ	15
(2) 調査結果	15

第1章はじめに

1. 調査実施概要

(1) 調査の目的

本調査は、次期基本構想の策定に活用することを目的に、まちづくりの方向性や区の様々な取り組み等について広く区民の意見や意向を把握し、基本構想の策定に活用するため、区報、墨田区公式ウェブサイト、公式 SNS から回答者を募集し実施した。

(2) 調査の実施方法

調査対象：墨田区民

抽出方法：区報「すみだ」、区ウェブサイト、SNS (facebook、X (旧 twitter)、LINE) より回答者を募集

調査方法：インターネット回答により回収

調査期間：令和5年9月11日～9月30日

(3) 調査項目

調査項目は以下の通りである。

基本属性	F1	満年齢
	F2	性別
	F3	居住年数
	F4	居住地域
区のイメージについて	問1_1	現在の区のイメージについて
	問1_2	今後の区に期待するイメージについて
区への満足点等について	問2_1	区に満足している点のキーワード
	問2_2	区に不満足である点のキーワード
	問2_3	区がより一層魅力的になるためのキーワード
区民参加	問3①	区と一緒に区の事業やイベントを企画・実施した経験
	問3②	区と協力して地域課題の解決やまちづくりを進める重要性
	問3③	地域課題の解決やまちづくりへの参加意向
	問3③-1	地域課題の解決やまちづくりへ参加したいと思わない理由
	問3④	参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式

(4) 回収状況

有効回収数：188人

(5) 調査結果の集計と分析について

① 留意事項

- ・ 図表中のnとは、各設問の回答者総数のことである。
- ・ 百分率はnを100%として算出し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示した。

このため、百分率の合計が100%にならない場合や合計と一致しない場合がある。

- ・ 読みやすさの観点から、回答割合が1%未満のデータラベルを削除している場合がある。
- ・ 報告書中のSAは単一回答の、MAは複数回答のことである。

② 標本誤差

全体（母集団から）一部を抽出して行う標本調査では、全数調査に比べて調査結果に差が生じることがある。

本調査は、満18歳以上のすべての墨田区民に回答を呼び掛けているが、すべての方が回答しているわけではない。よって、有効回収数を母集団から抽出された標本とみなし、抽出による結果の誤差は、以下の計算式によって算出する。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N=母集団数（満18歳以上の墨田区民） n=回答者数 P=回答比率（ $0 \leq P \leq 1$ ）

標本数と回答の比率ごとに誤差を整理したものは以下の表のとおりである。例えば、ある設問の回答者数（n）が188人であり、その設問中の選択肢の回答比率（P）が30%であった場合、その回答比率の誤差は±6.7%となり、23.3%～36.7%の範囲にあると考えられる。

回収数	回答率					
	50%	40%又は 60%	30%又は 70%	20%又は 80%	10%又は 90%	5%又は 95%
188	7.3%	7.1%	6.7%	5.8%	4.4%	3.2%
100	10.0%	9.8%	9.2%	8.0%	6.0%	4.4%
50	14.1%	13.9%	13.0%	11.3%	8.5%	6.2%

（6）分析の視点

回収したアンケート調査は単純集計による分析を実施した。

なお、居住地域については区内を以下の6地区に区分している。

地区名	該当する町丁目
1. 堤通・墨田・八広地域	堤通2丁目、墨田1～5丁目、八広1～6丁目、東向島4～6丁目
2. 向島・京島・押上地域	堤通1丁目、京島1～3丁目、押上1～3丁目、東向島1～3丁目、向島1～5丁目
3. 東墨田・立花・文花地域	東墨田1～3丁目、立花1～6丁目、文花1～3丁目
4. 吾妻橋・本所・両国地域	吾妻橋1～3丁目、東駒形1～4丁目、本所1～4丁目、石原1～4丁目、横綱1・2丁目、亀沢1～4丁目、両国1～4丁目
5. 業平・錦糸・江東橋地域	業平1～5丁目、横川1～5丁目、太平1～4丁目、錦糸1～4丁目、江東橋1～4丁目
6. 緑・立川・菊川地域	菊川1～3丁目、立川1～4丁目、緑1～4丁目、千歳1～3丁目、江東橋5丁目

第2章 調査の結果

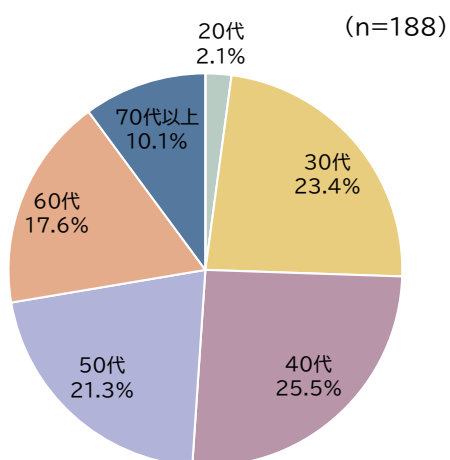
1. 回答者の基本属性

(1) 調査結果

① 満年齢

年齢は、「40代」の割合が最も高く 25.5% である。次いで、「30代 (23.4%)」、「50代 (21.3%)」である。

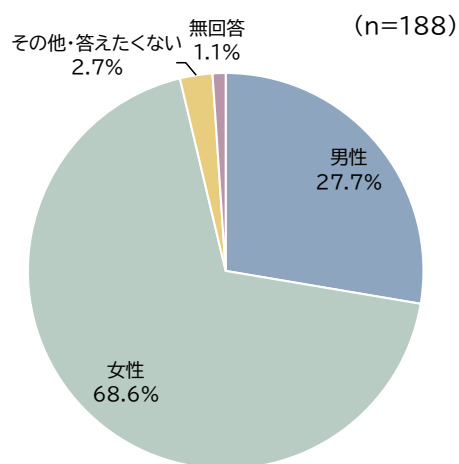
図表 1 満年齢 (SA)



② 性別

性別は、「女性 (68.6%)」、「男性 (27.7%)」である。

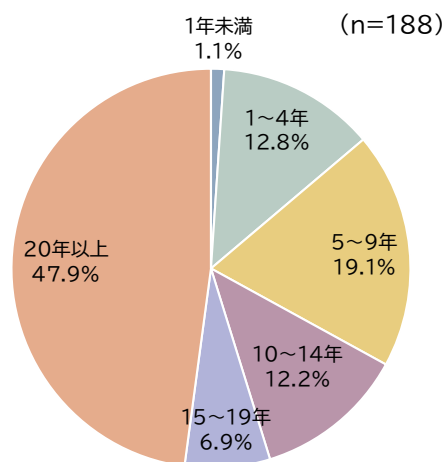
図表 2 性別 (SA)



③ 居住年数

居住年数は「20年以上」の割合が最も高く 47.9%である。次いで、「5～9年 (19.1%)」、「1～4年 (12.8%)」である。

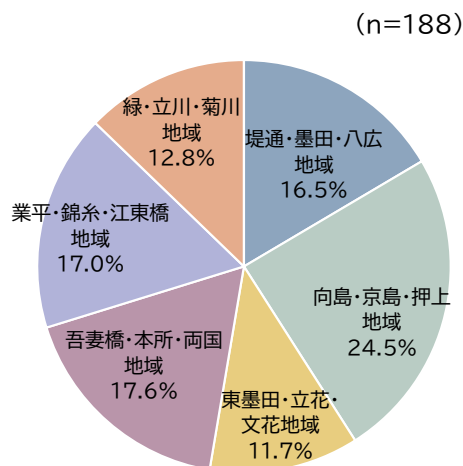
図表 3 居住年数 (SA)



④ 居住地域

居住地域は「向島・京島・押上地域」の割合が最も高く 24.5%である。次いで、「吾妻橋・本所・両国地域 (17.6%)」、「業平・錦糸・江東橋地域 (17.0%)」である。

図表 4 居住地域 (SA)



2. 現在の区のイメージと今後の区に期待するイメージについて

(1) 調査結果概要

- ◆ 現在の墨田区のイメージは、「便利で住みやすいまち」、「伝統、文化、芸術が感じられるまち」「地域のつながりが強いまち」の選択率が高い。(p.4 図表 5)
- ◆ 今後墨田区へ期待するイメージについては、「災害に強いまち」、「便利で住みやすいまち」、「治安が良いまち」の選択率が高い。また、回答順位をもとに点数化した場合に、「災害に強いまち」、「便利で住みやすいまち」の他に「出産・子育てがしやすいまち」が上位に挙げられる。(p.6 図表 7、p.7 図表 8)

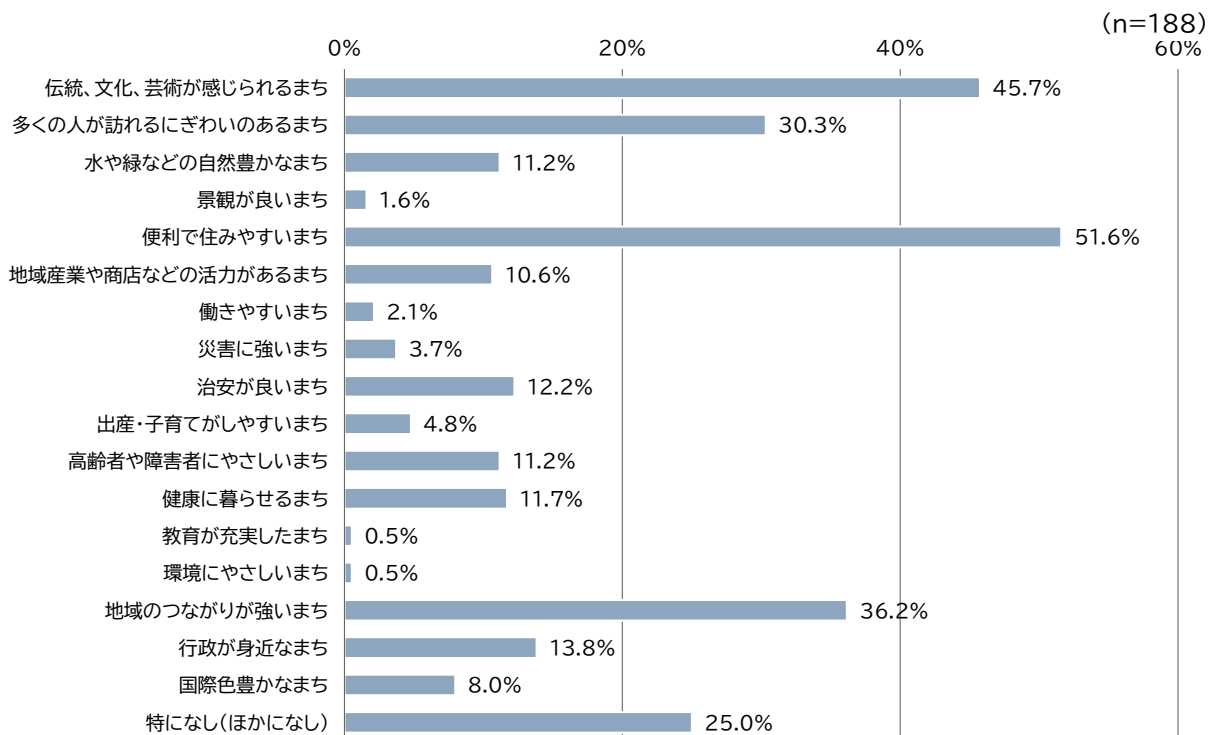
(2) 調査結果

① 現在の墨田区へのイメージについて（回答の選択割合）

現在の墨田区へのイメージについて、1位～3位に挙げられているものをすべて合算して、回答の選択有無について集計した。

現在の墨田区のイメージとして、選択されている割合は、「便利で住みやすいまち (51.6%)」、「伝統、文化、芸術が感じられるまち (45.7%)」、「地域のつながりが強いまち (36.2%)」の順に高い。

図表 5 現在の墨田区へのイメージについて（回答の選択割合）

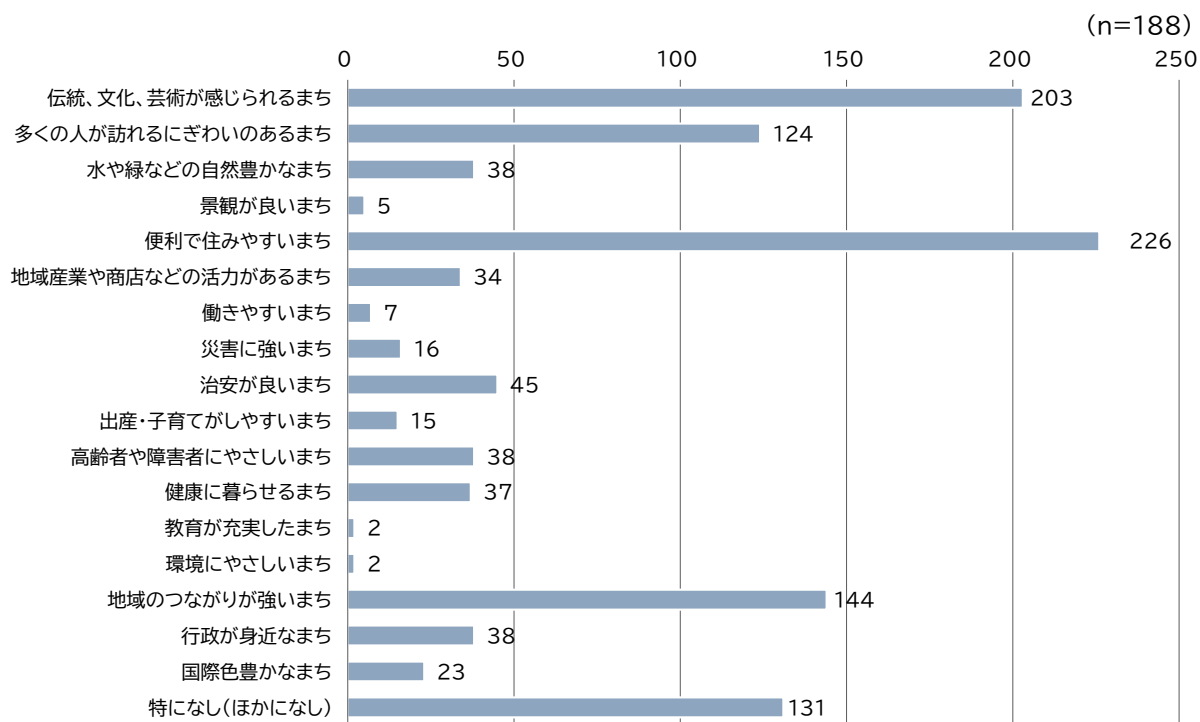


② 現在の墨田区へのイメージについて（回答の点数化）

1番目に選択されたものを3点、2番目に選択されたものを2点、3番目に選択されたものを1点として、回答内容を点数化して集計を実施した。

現在の区のイメージを点数化した結果は、「便利で住みやすいまち（226）」、「伝統、文化、芸術が感じられるまち（203）」、「地域のつながりが強いまち（144）」の順に高い。

図表 6 現在の墨田区へのイメージについて(回答の点数化)

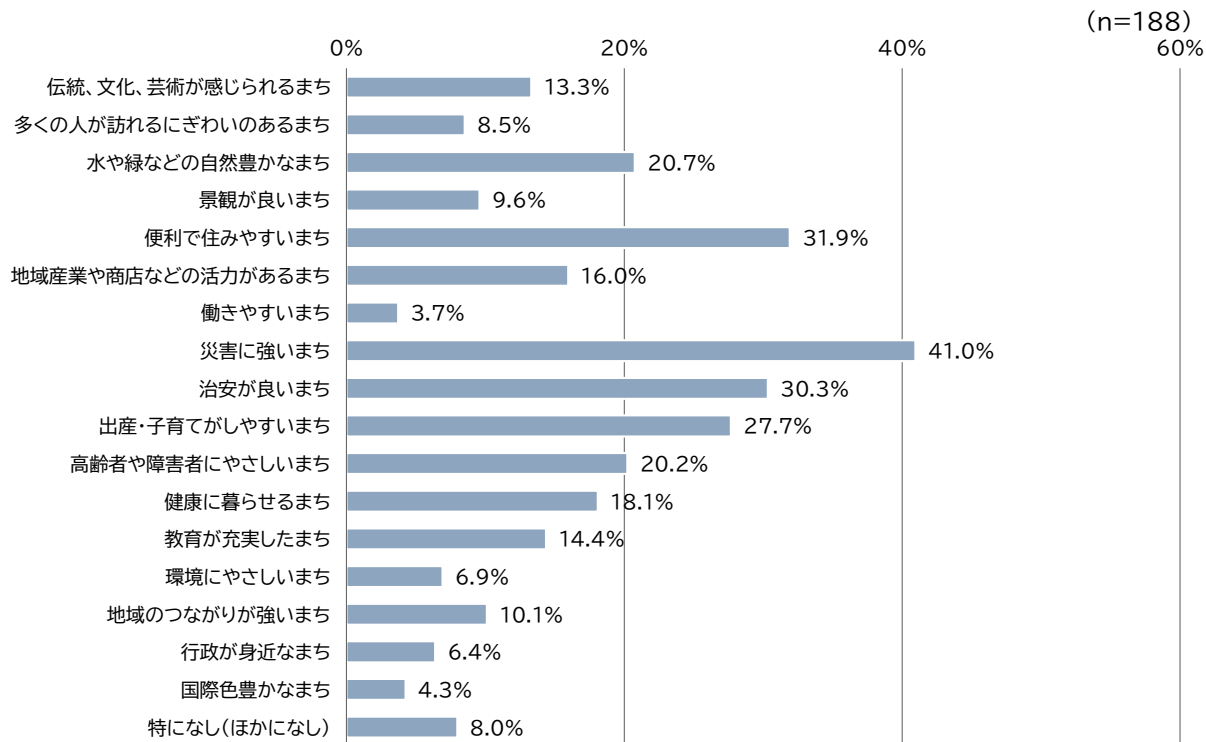


③ 今後の墨田区へ期待するイメージについて (回答の選択割合)

今後の墨田区へ期待するイメージについて、1位～3位に挙げられているものをすべて合算して、回答の選択有無について集計した。

今後の墨田区へ期待するイメージとして、選択されている割合は、「災害に強いまち (41.0%)」、「便利で住みやすいまち (31.9%)」、「治安が良いまち (30.3%)」の順に高い。

図表 7 今後区へ期待するイメージ (回答の選択割合)

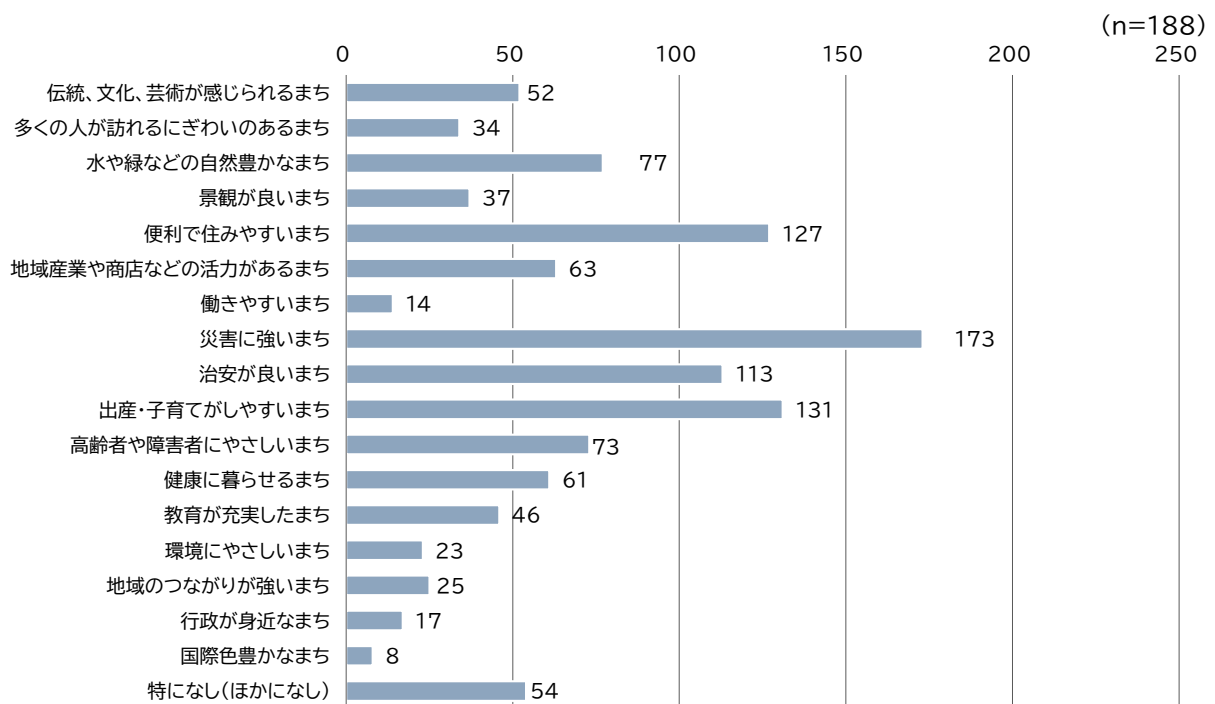


④ 今後の墨田区へ期待するイメージについて（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを3点、2番目に選択されたものを2点、3番目に選択されたものを1点として、回答内容を点数化して集計を実施した。

今後の墨田区へ期待するイメージについて点数化した結果は、「災害に強いまち（173）」、「出産・子育てがしやすいまち（131）」、「便利で住みやすいまち（127）」の順に高い。

図表 8 今後区へ期待するイメージ（回答の点数化）



3. 区への満足点、不満点等について

(1) 結果まとめ

- ◆ 墨田区に満足している点のキーワードについては、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通」、「伝統・歴史」、「観光」、「地域活動・地域づくり」、「住環境（住宅・道路・公園等）」の選択率が高い。（p.9 図表 9）
- ◆ 墨田区への不満点のキーワードについては、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）」、「防災」、「子ども・若者支援」、「まちなみ」、「教育」の選択率が高い。（p.11 図表 11）
- ◆ 墨田区がより一層魅力的になるためのキーワードについては、「住環境（住宅・道路・公園等）」、「商業・商店街」、「防災」、「子ども・若者支援」、「まちなみ」、「妊娠・出産・子育て」の選択率が高い。（p.13 図表 13）

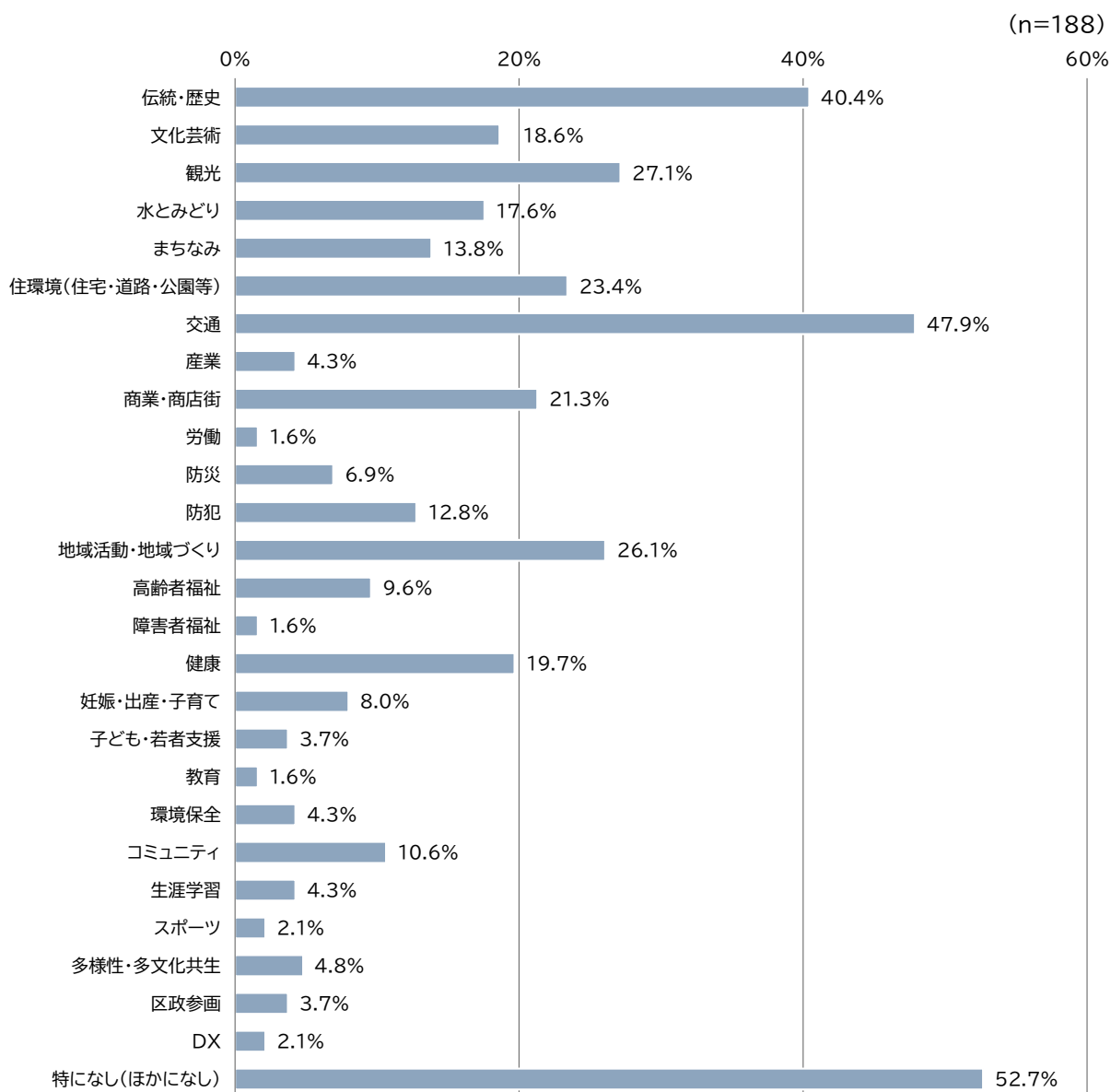
(2) 調査結果

① 満足している点のキーワード（回答の選択割合）

墨田区に満足している点のキーワードについて、1位～5位に挙げられているものをすべて合算して、回答の選択有無について集計した。

墨田区に満足している点のキーワードについて、選択されている割合は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（47.9%）」、「伝統・歴史（40.4%）」が特に高く、次いで「観光（27.1%）」、「地域活動・地域づくり（26.1%）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（23.4%）」の順に高い。

図表 9 満足している点のキーワード（回答の選択割合）

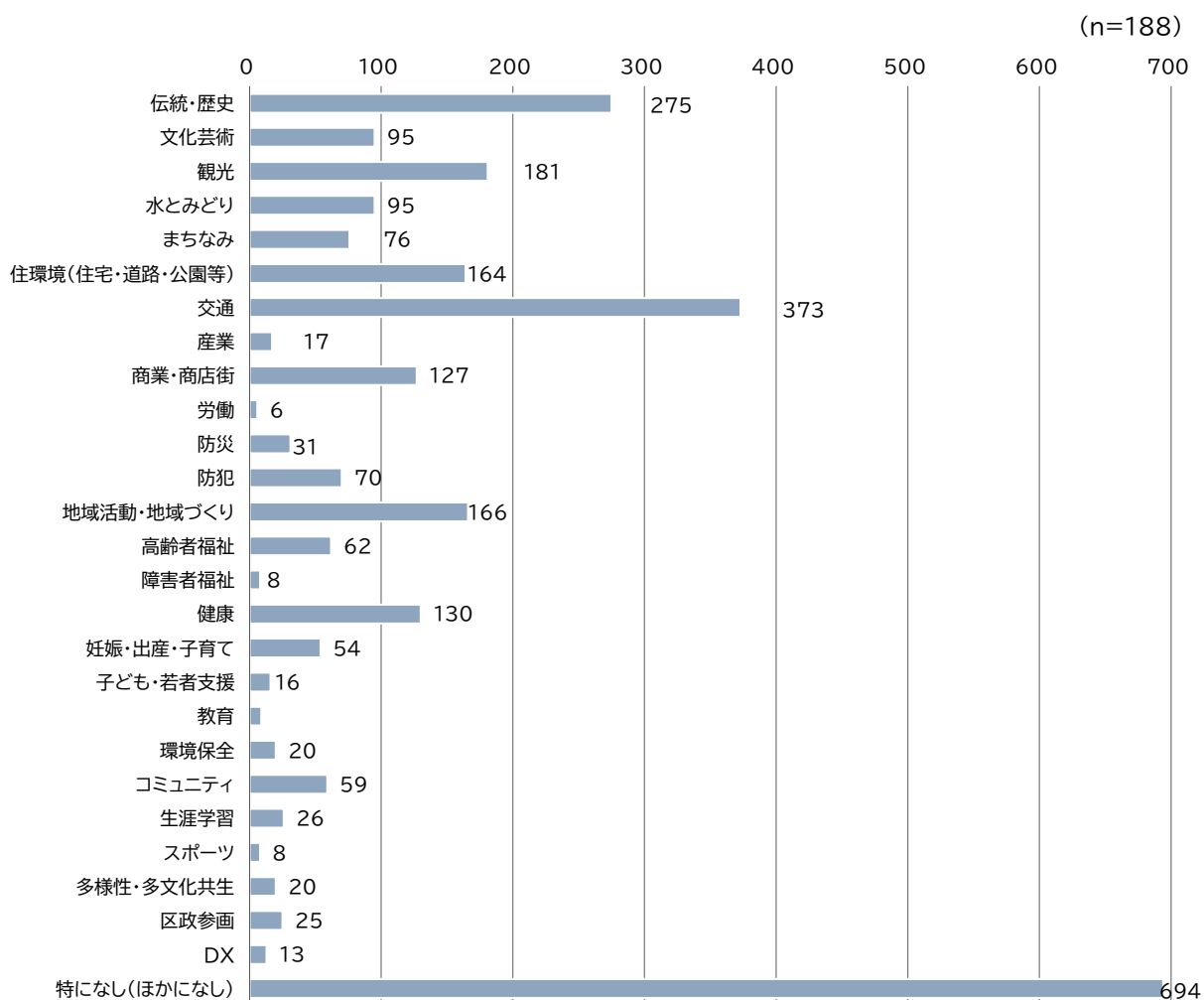


② 満足している点のキーワード（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを5点、2番目に選択されたものを4点、3番目に選択されたものを3点、4番目に選択されたものを2点、5番目に選択されたものを1点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

満足している点のキーワードを点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（373）」「伝統・歴史（275）」、「観光（181）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（164）」、「地域活動・地域づくり（166）」の順に高い。

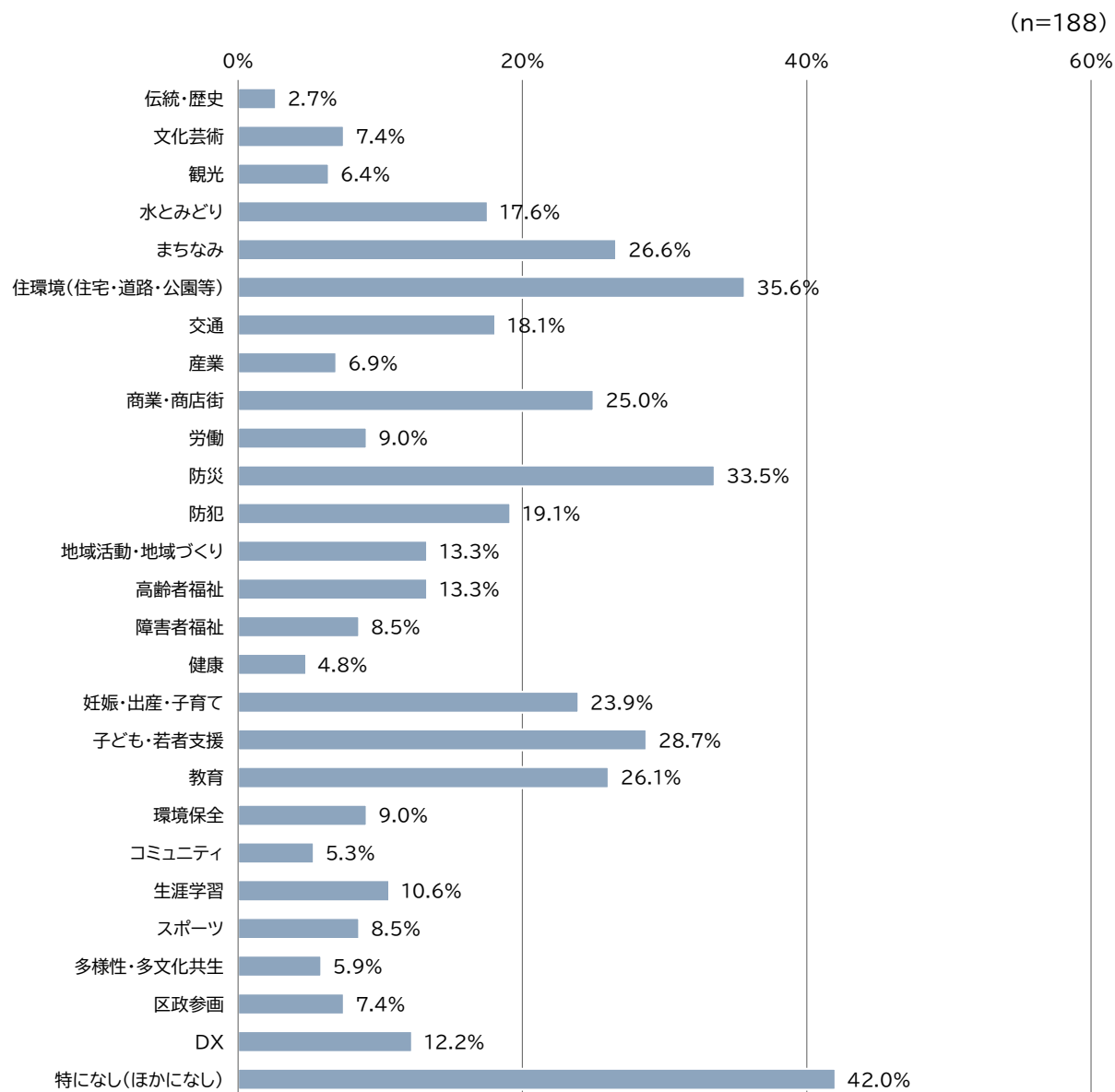
図表 10 満足している点のキーワード(回答の点数化)



③ 不満足である点のキーワード（回答の選択割合）

墨田区に不満足である点のキーワードについて、選択されている割合は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）（35.6%）」、「防災（33.5%）」、「子ども・若者支援（28.7%）」、「まちなみ（26.6%）」、「教育（26.1%）」の順に高い。

図表 11 不満足である点のキーワード（回答の選択割合）

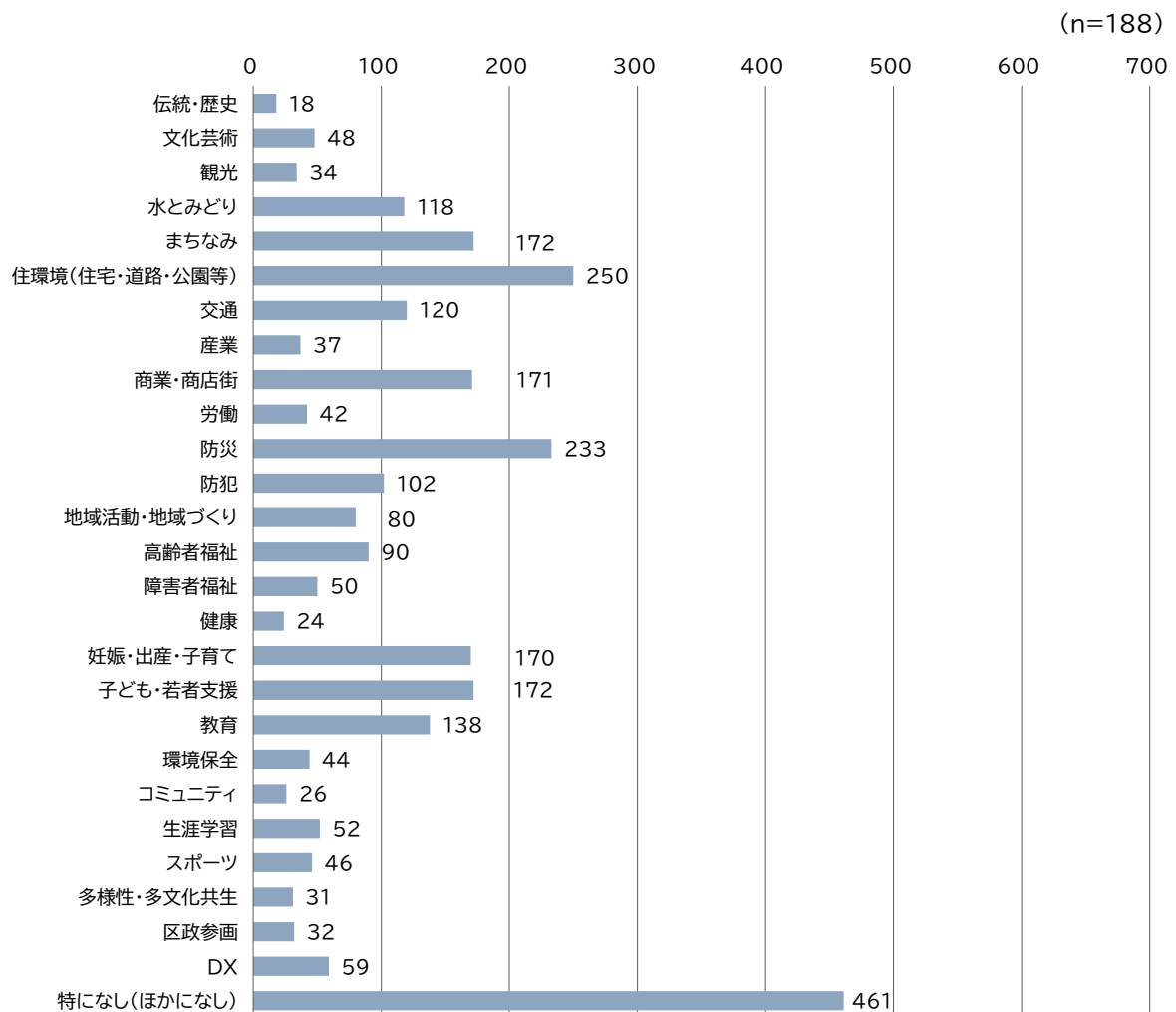


④ 不満足である点のキーワード（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

不満足である点のキーワードを点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）（250）」、「防災（233）」、「まちなみ（172）」、「子ども・若者支援（172）」、「商業・商店街（171）」の順に高い。

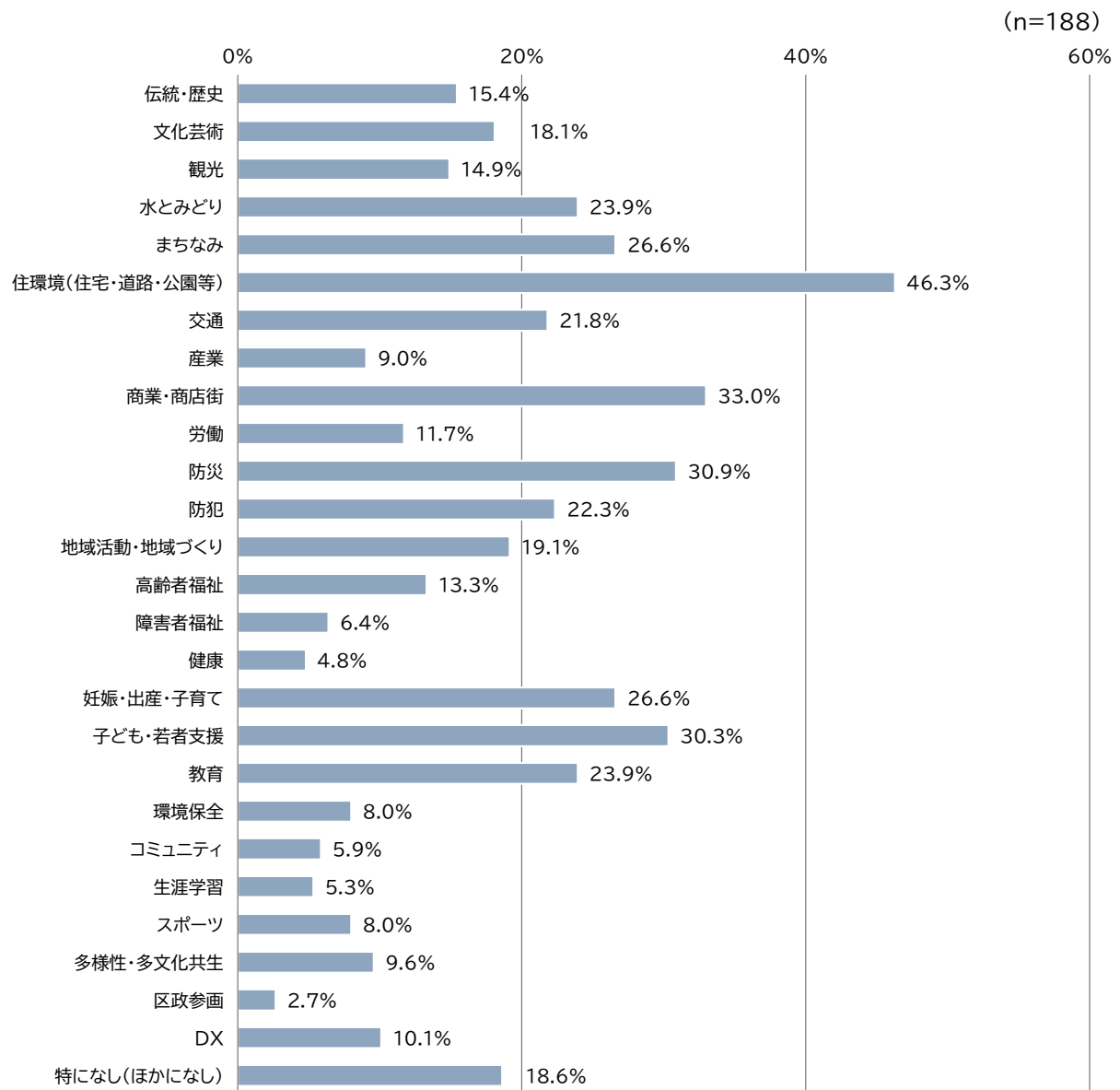
図表 12 不満足である点のキーワード（回答の点数化）



⑤ 魅力的になるためのキーワード（回答の選択割合）

墨田区がより一層魅力的になるためのキーワードとして、選択されている割合は、「住環境（住宅・道路・公園等）（46.3%）」が最も高く、次いで「商業・商店街（33.0%）」、「防災（30.9%）」、「子ども・若者支援（30.3%）」、「まちなみ（26.6%）」、「妊娠・出産・子育て（26.6%）」の順である。

図表 13 魅力的になるためのキーワード（回答の選択割合）

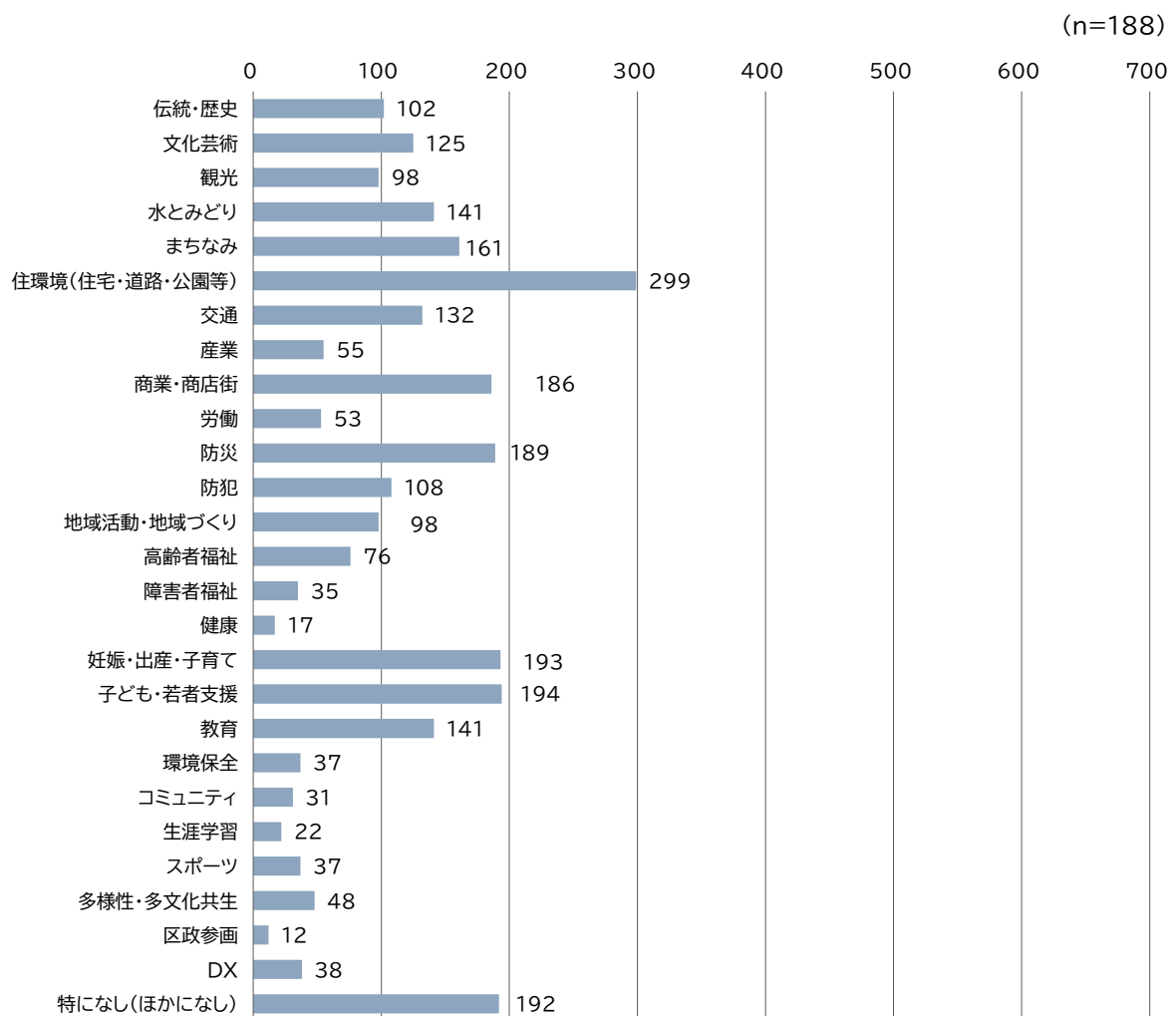


⑥ 魅力的になるためのキーワード（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

魅力的になるためのキーワードを点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）（299）」、「子ども・若者支援（194）」、「妊娠・出産・子育て（193）」、「防災（189）」、「商業・商店街（186）」の順に高い。

図表 14 魅力的になるためのキーワード（回答の点数化）



4. 地域課題の解決やまちづくりへの区民参加について

(1) 結果まとめ

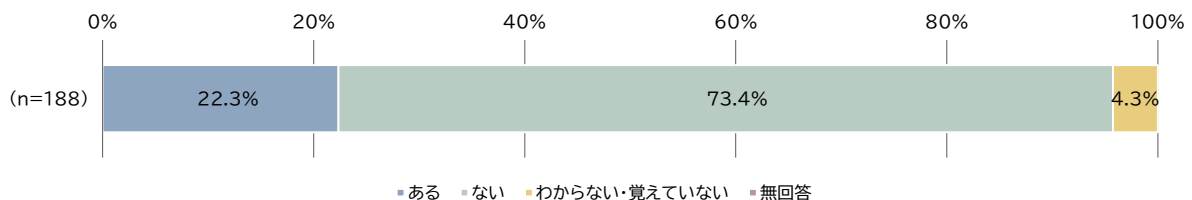
- ◆ 回答者全体の区の事業やイベントなどへの企画・実施経験がある割合は2割以上を占める。(p.15 図表 15)
- ◆ 区民や事業者と区が協力して地域課題の解決やまちづくりを進めていくことが重要だと思う割合(「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計)は、全体の9.5割以上を占める。(p.15 図表 16)
- ◆ 地域課題の解決やまちづくりへの参加意向があるとする割合(「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計)は、全体の約8.5割を占める。(p.16 図表 17)
- ◆ 参加したいと思う地域課題の解決やまちづくりの形式は、「SNS等によるアンケート」の割合が最も高く、次いで、「地域の課題解決やまちづくりに関する対面ワークショップ」、「オンラインでの意見交換等」が挙げられた。(p.17 図表 19)

(2) 調査結果

① 区と一緒に区の事業やイベントを企画・実施した経験

区と一緒に区の事業やイベントを企画・実施した経験について、「(参加経験が)ある」の割合が22.3%、「(参加経験が)ない」の割合が73.4%である。

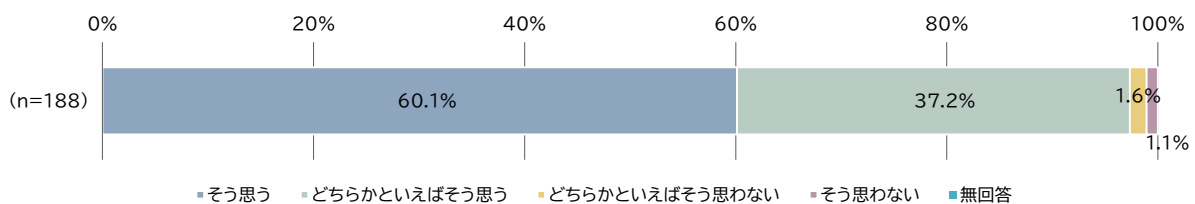
図表 15 区と一緒に区の事業やイベントを企画・実施した経験 (SA)



② 区と協力して地域課題の解決やまちづくりを進める重要性

区民や事業者と区が協力して地域課題の解決やまちづくりを進めていくことが重要だと思う割合(「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計)は、全体の9.5割以上を占める。

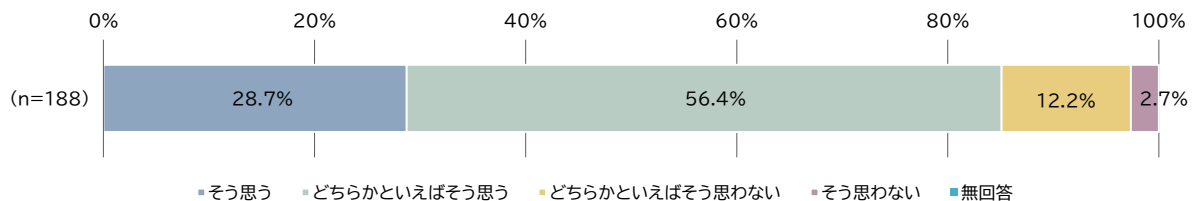
図表 16 区と協力して地域課題の解決やまちづくりを進める重要性 (SA)



③ 地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいか

地域課題の解決やまちづくりに参加・関わりたいと思う割合（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計）は、全体の約 8.5 割を占める。

図表 17 地域課題の解決やまちづくりへの参加意向（SA）



④ 地域課題の解決やまちづくりへ関わりたいと思わない理由

地域課題の解決やまちづくりへの参加に対し関わりたいと思わない（「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」）と回答した方を対象にその理由を確認した。

地域課題の解決やまちづくりに関わりたいと思わない理由としては、「忙しく時間が合わない（42.9%）」、「興味がない・やりたいと思わない（28.6%）」、「どこで情報を得ればよいかわからない（21.4%）」「そのような機会があることすら知らなかった（21.4%）」の順に高い。

「その他」の回答として、「高齢のため難しい」、「健康上の問題」、「過去に何年か経験したが、縦割り行政の問題を感じる」、「一部の方のみで牛耳られている団体がある」等が挙げられた。

図表 18 地域課題の解決やまちづくりへ参加したいと思わない理由（MA）

